

日産 NV350キャラバンキャンパーをクローズアップ!

AUTO CAMPER

オートキャンパー
キャンピングカー&アウトドア満喫マガジン

8 AUGUST 2013

SHIFT_the camping car

日産 NV350

キャラバン大全

ボディタイプ別 最新キャンパー 20モデル

◎ジェニュイン ◎デュオ タイプC ◎E26アーバンVS-i ◎ブリリオキャンプスタイルほか



祝

世界文化遺産
登録決定!!!!

富士山麓 道の駅ガイド
雄大な姿を眺めつつ周辺の駅めぐり!



Dinette

●車体サイズと想定使用人數からすると、十分すぎると思えるほど広いラウンジ空間。そのためテーブルを片付けなくてもツインベッドのように使用できる。フロアのフラット感はビーグルならではの仕上がりで、そこから立ち上がるシート表面のフラット感も土台に裏打ちされた安定感がある。



Upper Cabinet

●ビーグルとしてはかなり大型のオーバーヘッドキャビネットを持つが、2人旅で長期旅行となればこれでも足りないくらいで、フロアを有効活用する方法が必要だ

VAN DX
NARROW
LONG
High Roof

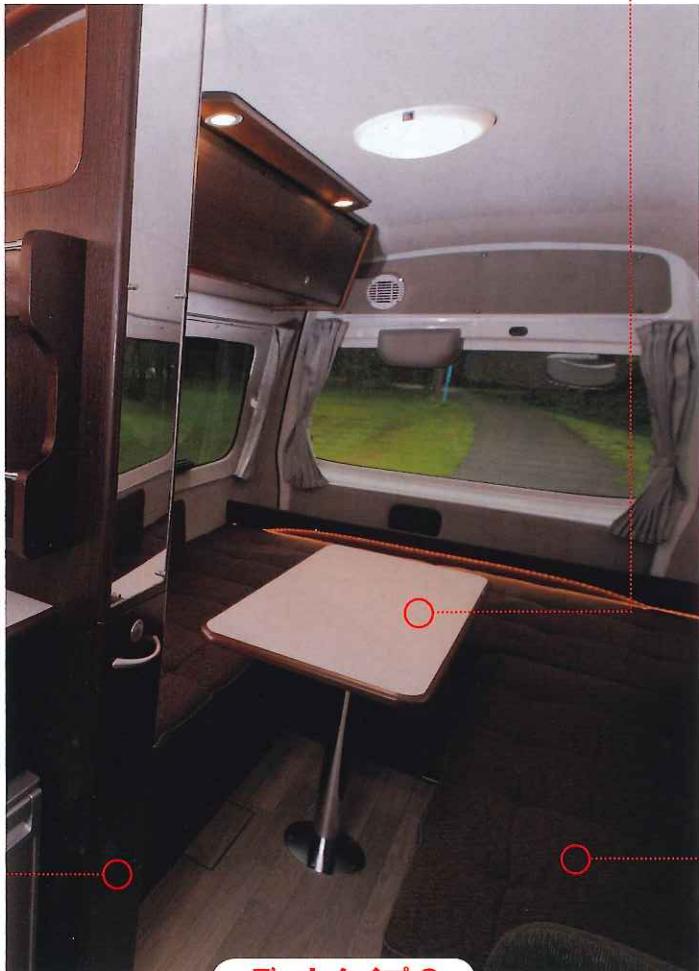
グレード&ボディタイプ別 4モデル解剖

Vehicle DUO TYPE C

心地いい室内空間をナロー ボディで実現

ベース車両はどんどん大型化していく傾向があり、自宅保管の場合「置き場所」が大きな問題になってくる。それを解消してくれるのが従来の小型車枠の車体幅だが、室内有効面積と容量はニーズを反映して拡大。使いやすさを最優先する形は時代の最先端かもしれない。

TEXT: 鈴木康文 PHOTO: 山内潤也



デュオ・タイプC



価格: 437万8500円~ **ビーグル** 048-927-5678
www.vehicleweb.co.jp/



Main Bed

ベッドは
使い勝手が
いいね



●デュオの性格上、2人使用が基本になるだろう。そうした場合、すぐに横になれるベッドがあるかないかで、実際の旅では大きく使い勝手に差が出る。常設ベッドのように布団を敷いて、フロア部を収納庫とすると効率よく運用できる

キャラバンは、市場投入に際してハイエースをじっくりと研究。その結論が、ロングのナローボディであるにもかかわらず、いわゆる超ハイルーフのモデルを用意したことに表れている。しかもスライドドアは、とにかく高いルーフの上まで達しているため、乗降時に頭をかがめなくていいのがじつに快適。デュオの室内は、そのスライドドアをくぐってから狭さを感じさせるような細々とした細工はなく、車両全体が持つイメージはゆったりとしたものだ。この余裕感は、6人の乗車定員を確保しつつ2人使用に徹したレイアウトを採用したからだ。

ナロー ボディなのに
ハイルーフなのが魅力的

SHIFT_the camping car 日産 NV350キャラバン大全



Fan & Sub Battery

●サブバッテリーにインバーターを接続し、いつでも家庭用電源を使用できる。容量は限られるが、どこでも電源を得られるありがたさは、今やキャンピングカーの標準装備になりつつある

●リヤゲートの高い位置に、電動式の排気ファンを設置。オリジナルボディをカットするとか、穴を開けるということができるだけ避ける、ビーグルの設計思想が表れている



Point

Kitchen

●軽食を用意する程度なら十分な広さがあるキッチン。構造用件を満たすため、シンクの位置に開けられたフロアの一部分は、通常は開ける必要がないので接着剤で封印されているが、天井そのものは十分な高さ



Microwave & Fridge

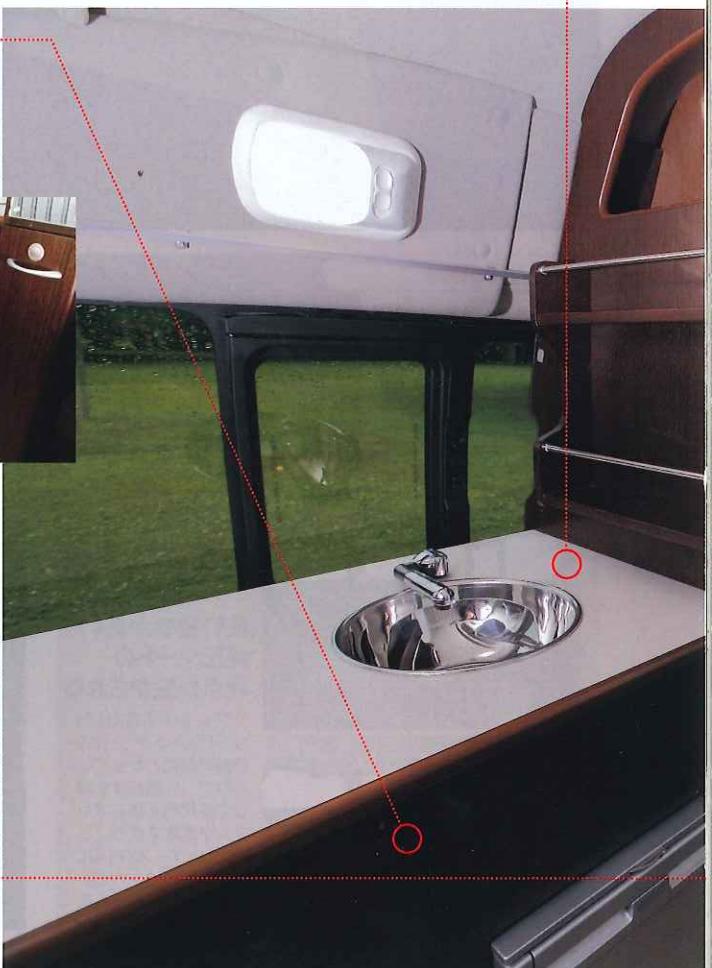
●ビーグルの定番車“フューチャー”の意匠にも似た、前後2室のように感じられるキャビネットに液晶テレビなどを埋め込む。出っ張りが少なくなるので、じゃまにならない



●電気回路はシンプルで、メインコントロールスイッチ1カ所ですべての管理が可能。長期駐車などでサブバッテリー上がりを未然に防ぐには、じつはこれがかなりありがたい装備。もちろん電灯類は、それぞれの手元でもオンオフできる

Bottle Rack

●薄型キャビネットを生かすため、スライド式の収納庫とした。これらのサイズは、ベットボトルなどが立てて収納できる

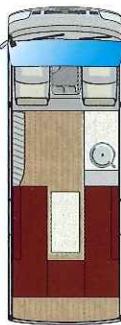


家具調度品の仕上がり具合もさらに磨きがかかり、ゆがみのないフラットな面や、恐らく過酷な自動車の中で永続的な使用においても、変形を起こしない作りなどは、目には見えない部分だがビーグル社ならではといえるだろう。

この装備があれば、ミニバンの限られたスペースで車中泊をするのとは別次元の、きちんと入れられる。しかもそれが3ナンバー幅ではないナロー・ボディで実現してしまうのだ。

普段、出かける場所があまり道路環境に余裕がないなら、やはり大きなボディサイズはネックになる。その点で、デュオのナローのロングボディなら躊躇することはまずない。

家具調度品の仕上がり具合もさらに磨きがかかり、ゆがみのないフラットな面や、恐らく過



主要諸元 登録ナンバー 8

乗車定員 6人 | 就寝人数 2+1人
ベース 車両 | バンDX スーパーロング標準幅
ハイルーフキャラバン専用車
標準装備

シンク/カセットコンロ/電動ポンプ/10ℓ
給排水タンク/1ウェイ40ℓ冷蔵庫/105Ah
サブバッテリー/走行充電システム/12&
100Vコンセント/外部AC電源入力/集中
スイッチほか

松本有啓さん

住所:埼玉県久喜市
ベース車:スーパーロングボディ
ワイド幅 ハイルーフキャンパー専用車
購入年月:2013年5月

ピーカーのプロスは、通常モデルでは標準幅のハイルーフ車がベースだが、松本さんはさらに広い室内空間を求めてワイドボディを選択。セカンドシートが幅広になり、ベッド展開も楽などメリットは大きいと語る。



●シンクのシャワーは伸縮式のロングホースを装備。わんぱく盛りの子供たちが外遊びで汚れても、室外シャワーとして使用することができる

●ワイドボディをベース車にすることで、リヤの2段ベッドもより一層広くなった。大人2人でもゆったりと寝られるサイズだ

●ピーカー 埼玉県草加市谷塚町1080-18
048-927-5678 <http://vehicleweb.co.jp/>

夏休みが今から楽しみです

夏休みはどこに行く?

長期のキャンプだけでなく普段の足としても大活躍!

鳥島さん夫妻は、以前からキャンプを楽しんでいて、「ランクル80に乗っているときに、オートキャンパーに掲載されました」と話す。子供が生まれたのを機に、「テントでなく、クルマでキャンプができるれば…」ということで、ベッセルファミーユを購入した。

「ウチの家族構成に合ってますね。遠出をしてガツツり寝るときには2段ベッドを使う。ちょ

っとした車中泊なら上段をたたみ、下段でみんなで並んで寝る。そのように使い分けられるし、普段使いができるのも魅力」

10日間ほどかけて北海道を巡るなど、家族でクルマ旅を楽しんできた鳥島さん。上のお子さんが中学生になり、「1週間も休ませにくくなつた」と話してはいたが、キャンピングカーを通じて、家族の思い出はまだまだ増えていくそうだ。



●お子さんの幸江ちゃん、麗菜ちゃんは元気いっぱい。カメラを向けると、組体操を披露してくれた!

●オーニングなどを追加したが、カーナビ、テレビなどをDIY装着することで、出費を最小限に抑えた



鳥島勝則さん

●43歳 ●埼玉県八潮市 ●愛車名:ビーカー・ベッセルファミーユ 購入年月:2008年5月 ●走行距離:1万6000km



●ベッセルファミーユは、家族4人で1週間以上のクルマ旅をする、鳥島さんの使い方にピタリとハマった



●長期の旅行の際には、快適に過ごすために上下のベッドをフル活用する



●バドミントンのラケットを持ち込み、お子さんたちが元気に遊んでいた。それでも体力は余っている!?